

かぎ針付タティングシャトルで作る 糸ボタンのカラフルブローチ



技法考案・デザイン／工房ハーモニー
 <出来上がりサイズ>約4cm×6.5cm

<使用道具>

57-711 かぎ針付タティングシャトル
 <No.12 (0.60mm)>
<https://clover.co.jp/products/57711>



36-666 カットワークはさみ115(11.5cm)

57-007 フランス刺しゅう針No.7

58-431 クロバーボンド<多用途・速乾>

<材料>

リングパーツ 直径19mm 4個
 直径14mm 2個

25番刺しゅう糸 ※色はお好みでご用意ください。

直径19mmのリング用 約2.3m (3本取り) 4セット
 直径14mmのリング用 約1.3m (3本取り) 2セット
 フェルトのステッチ用 フェルトの色に近いもの
 (2本取り) 適宜

フェルト 1.5×5cm 2枚

ブローチピン(35mm) 1個

<作り方>

「糸ボタン基本の作り方」の動画も参考にしてください。

<https://clover.co.jp/movie/tattingbutton>

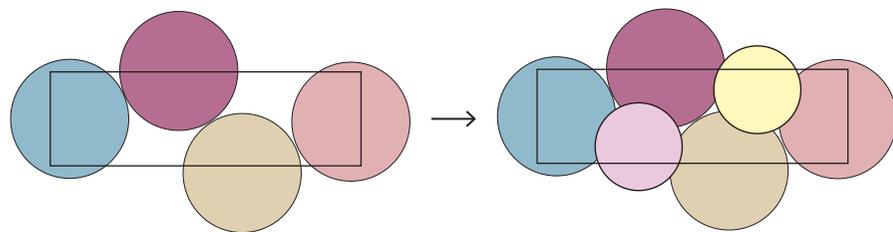


- ①別紙の「かぎ針付タティングシャトルで作る糸ボタン<基本の作り方>」の通りに、19mmの糸ボタンを4個、14mmの糸ボタンを2個作ります。
 糸は25番刺しゅう糸を3本取りで使います。見本作品は、段染めの糸や、異なる色を引き揃えて使っています。
 糸端を約15cm残して作り始め、最後の結び目が最初の結び目の反対側に来るようにして、糸端を約15cm残してカットします。



最後はこのように左右から糸端が出ている状態にする

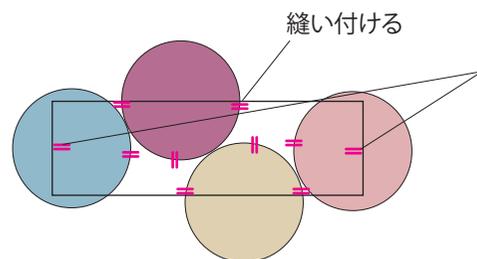
②フェルト(1.5×5cm)に糸ボタンを置いて位置を決めます。



まず19mmの糸ボタン4個を配置する

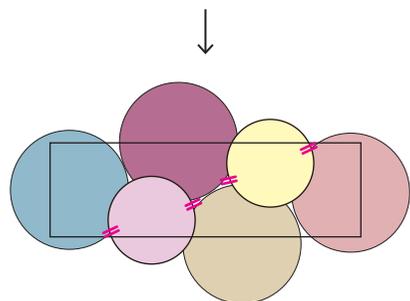
14mmの糸ボタン2個を配置する

③②で配置した通りに糸ボタンをフェルトに縫い付けます。
糸ボタンの糸端をフランス刺しゅう針No.7に通して縫います。
縫えたらフェルトの裏側で玉どめします。



糸ボタンの裏側とフェルトを縫い合わせる。
(表から縫い付ける糸が見えないようにする)

まず19mmの糸ボタン4個を縫い付ける



14mmの糸ボタン2個を縫い付ける

④もう一枚のフェルト(1.5×5cm)にブローチピンを縫い付けます。
フランス刺しゅう針No.7を使って、刺しゅう糸2本取りで縫います。
(手縫い針と手縫い糸を使っても大丈夫です)

⑤③の裏側に④をボンドで貼ります(フェルト同士を貼り合わせます)
重なっているフェルトの縁をブランケットステッチで一周ステッチして完成です。
ブランケットステッチはフランス刺しゅう針No.7を使って、25番刺しゅう糸
2本取りでします。



ブランケットステッチ



【動画】
刺しゅうの基礎 8
ブランケットステッチ
<https://clover.co.jp/movie/embkiso08>

クローバー株式会社

かぎ針付タティングシャトルで作る 糸ボタンのカラフルブローチ 2-2